

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜テクノオート専門学校
設置者名	学校法人 五大

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>国土交通省より自動車整備士養成の「一種養成施設」設置基準を満たしているとの認可を受け、自動車整備士国家資格の実技試験免除校となっています。</p> <p>学科授業、実習授業ともに一種養成施設の規定時間を遵守して実施しています。また自動車整備現場での実務経験を積んだ国家資格 1 級または 2 級取得者である教員が、指定科目すべての授業を受け持っています。</p> <p>これらの内容を科目ごとのシラバスに記載し、年度ごとに内容を更新し、当年度の 5 月には学校ホームページ上で誰でも閲覧できるように公開します。</p> <p>厳格かつ適正な成績管理についてはこれを学校ホームページにて公開しています。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.godai.gr.jp/techno/syugaku-sien/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>《一般試験》</p> <p>科目ごとに履修効果の評価するために1回以上実施します。正解率70%以上(1級自動車整備科3年次と4年次は80%)を合格とします。(正解率が基準に達しない者については追試験を受験し80%以上の正解率で合格とします。)</p> <p>《進級試験》</p> <p>各年次終了時、履修したすべての科目について評価するために実施します。合格となる正解率は一般試験と同様です。</p> <p>《修了試験・卒業試験》</p> <p>授業期間を通じて履修したすべての科目について評価するために実施します。合格となる正解率は一般試験と同様です。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>進級試験や卒業試験・修了試験以外にも、随時一般試験が行われ、授業態度、出席状況等を考慮して判定されます。</p> <p>当校での成績評価基準は、科目ごとの目標レベルの到達度で、この到達度に応じて「5」、「4」、「3」、「2」、「1」の5段階で評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 100～90点 : 5 ・ 89～80点 : 4 ・ 79～70点 : 3 ・ 69～50点 : 2 ・ 49点以下 : 1 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校ホームページにて公開</p> <p>http://www.godai.gr.jp/techno/syugaku-sien/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

国土交通省が定める「自動車整備士一種養成施設」所定の科目、及びYTCが独自に規定する一般教養科目を履修・修了した者に対し、1級、または2級自動車整備士国家試験の受験資格(実技試験免除)が付与されます。

同時に文部科学省告示により工業専門課程の高度専門士、または専門士の称号を付与します。(1級自動車整備科、自動車整備科)

《1級自動車整備科(4年制課程・高度専門士付与・職業実践専門課程)》

国土交通省が定める規定の科目、及び本校の規定する科目をすべて修了した者に対し卒業を認定します。

《自動車整備科(2年制課程・専門士付与・職業実践専門課程)》

国土交通省が定める規定の科目、及び本校の規定する科目をすべて修了した者に対し卒業を認定します。

《钣金塗装科

(1年制課程(自動車整備士2級以上取得、または取得見込み者対象))》

本校の規定する科目をすべて修了した者に対し卒業を認定します。

《国際エンジニア科(1年制課程)》

本校の規定する科目をすべて修了した者に対し卒業を認定します。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校ホームページにて公開
<https://www.godai.gr.jp/syugaku-sien/>